

一般情勢報告

(昭和八年十一月第二回年度大會より
昭和九年十一月まで)

茲に日本労働組合會議九州地方協議會第三回年度大會を迎ひ、一般情勢報告をなすに當つて、先ず、我が九州地方協議會が日本労働組合會議の地方機關として全国的實踐の中に加盟団体の融和、親睦、連絡、統制を益々緊密にし、全國に比類なき一身同休の代表的労働組合の戦線統一機關として、その健全なる發展へ全力的に協力した加盟諸団体の努力と熱意に對して深甚の謝意と敬意を捧げる。

即ち、資本主義の過ぎし一ケ年の動向を見るに、資本主義は正に崩壊の前夜にあつて必死の苦悶と足掻きに懷蕩した一年であつたと云ふことが出来る。世界各國は擧げて國際主義的經濟政策を放棄し、排他的國家主義經濟對立の激闘の中にインフレーション政策を強行し、物價の吊り上げ、國産品使用の強制、軍需産業の擴張、極端なる労働條件の劣悪化並に、對り労働階級のみを犠牲に供する生産費の削減に依る自國商品の海外進出、關稅高壁と輸入制限に依る國內市場の擁護等、國際市場の争奪を中心に、國內産業の再建、維持を企圖したが、かゝる姑息的な彌縫手段を以ては頭底、資本主義機構の根深くに内蔵されてゐる缺陷を除去し得るものではなく、資本主義機構の生産と消費の根本的矛盾は益々擴大、深化して、國內需要消費の中心をなす失業階級は多く減少せず、購買力の源泉をなす賃金も只だ低下の一路を進むのみにして、資本主義經濟は萎微、衰頹し、その破綻は益々露骨に世界の全面へ曝露され、資本主義崩壊の前夜の苦悶と必死の足掻きの中に國際市場争奪の經濟戰が武力戰爭へ轉化する危機は益々深刻化して國際情勢は正に暗雲低垂の狀態にある。

茲に於て、世界の資本主義諸國は目前に迫る没落を迴避する必死の活路を、資本主義の便衣隊フアツショ運動と資本主義是正の統制經濟運動に求めるに至つたが、フアツショ運動も統制經濟運動も、それが労働階級の犠牲の上に於てのみ、資本主義の維持、再建を企圖してゐる限り、資本主義崩壊の苦悶と憔悴は斷じて解消され得るものではなく、却つて資本主義没落の槓桿となつて、資本主義機構の缺陷と不合理を更らに露骨に曝き出そうとしてゐる。

かゝる排他的國家主義並にフアツシズムの反動思潮の奔流する中に、アメリカ合衆國の國際労働會議加盟とソヴェット共

目次

一、一般情勢報告	一	一、日本労働組合會議に関する報告	一七
二、會務報告	九	第三回年度大會決議	一七
三、會計報告	一〇	労働立法に関する決議	一八
四、事業報告	一〇	加盟団体の陣容	一九
五、オランダ、ケンビン問題	一〇	本部役員構成	一九
六、國際労働代表三行の歓迎	一〇	一、九州地方協議會加盟団体の陣容	一九
七、簡易保険低費診療拒絶反對決議	一一	二、役員構成	二〇
八、メソ、元一	一一	第七回大會議案書	二〇
九、津田、福岡正副議長座談會	一二	九州地方協議會加盟団体	二〇
十、労働懇談會	一四	一、青年部統一組織化の件	二〇
十一、第一漁業奥田、山口九粉議案	一五	二、労働強化の件	二一
十二、共同漁業手続應援	一五	三、賃金値上げ運動に関する件	二二
十三、製鐵所入場船員待遇改善要求	一六	四、公益無料職業紹介所機能擴充の件	二三
		五、關關糖業委員會設置に関する件	二四